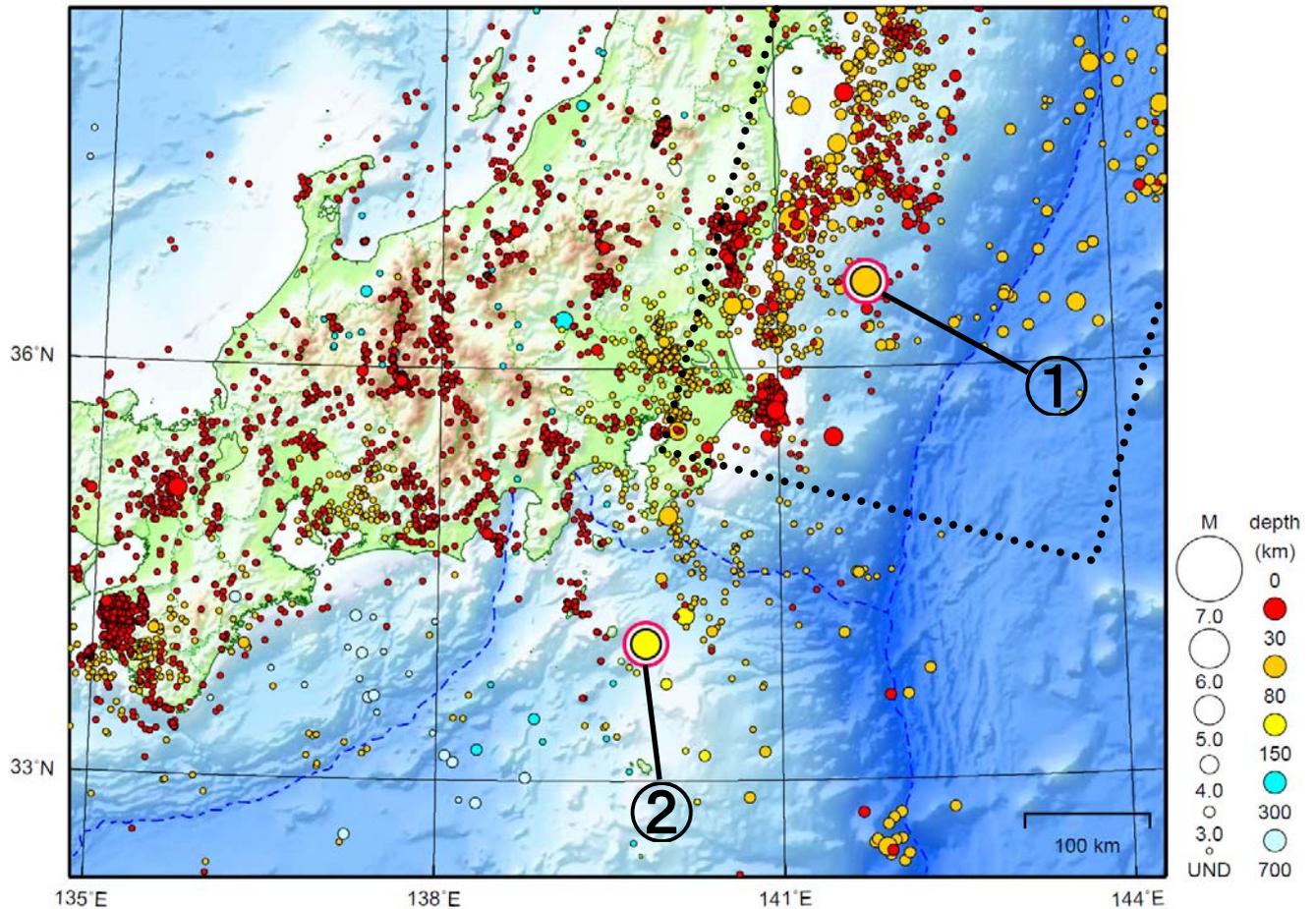


関東・中部地方

2014/06/01 00:00 ~ 2014/06/30 24:00

N=5185



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

- ① 6月16日に茨城県沖でM5.7の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 6月17日に房総半島南方沖でM5.3の地震（最大震度3）が発生した。

（上図範囲外）

6月29日に硫黄島近海でM6.4の地震（最大震度3）が発生した。

（上記期間外）

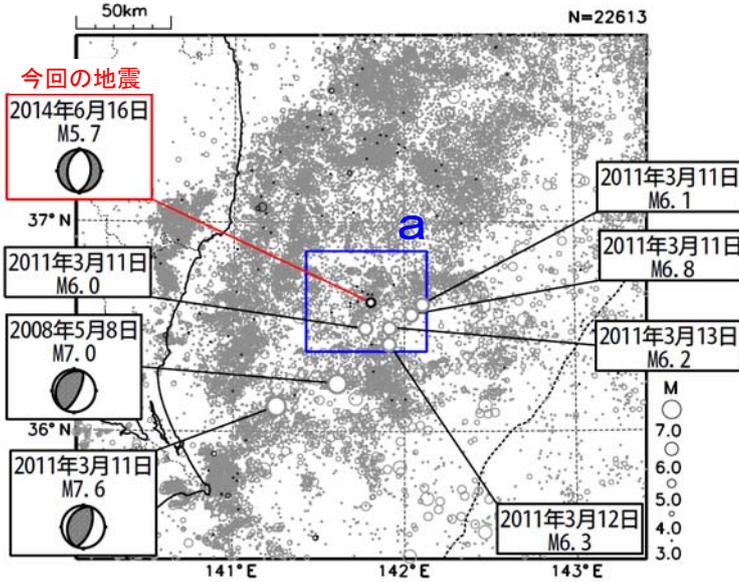
7月1日に小笠原諸島西方沖でM6.2の地震（最大震度1）が発生した（上図範囲外）。

7月3日に茨城県北部でM4.0の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

6月16日 茨城県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2014年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
2014年6月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

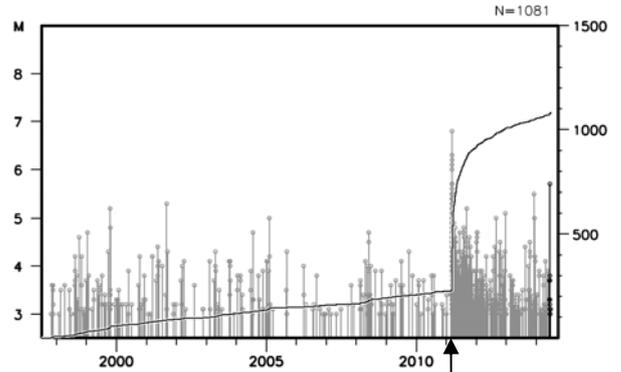


2014年6月16日03時19分に茨城県沖でM5.7の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、東西方向に張力軸を持つ正断層型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M5.0程度の地震が時々発生していたが、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動が活発になり、2011年3月11日にはM6.8の地震(最大震度4)が発生している。

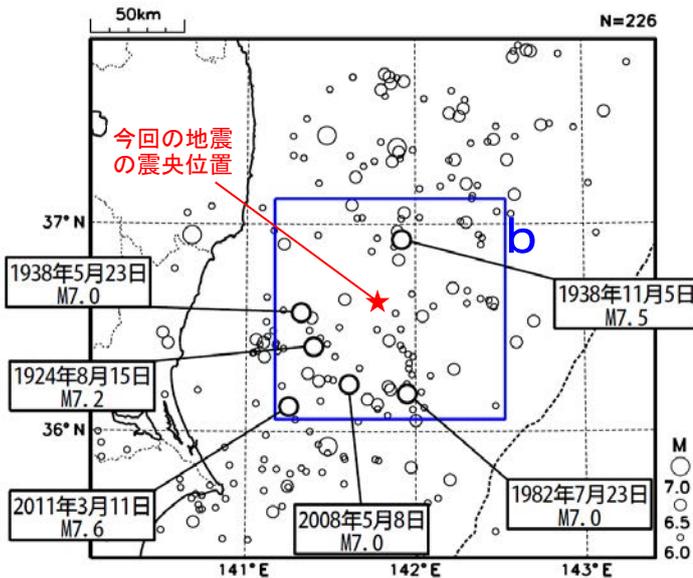
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7.0以上の地震が時々発生している。2011年3月11日にはM7.6の地震(最大震度6強、東北地方太平洋沖地震の最大余震)が発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図

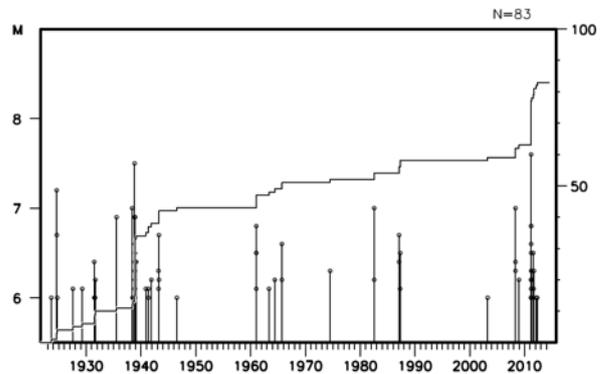


東北地方太平洋沖地震発生

震央分布図
(1923年1月1日～2014年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)



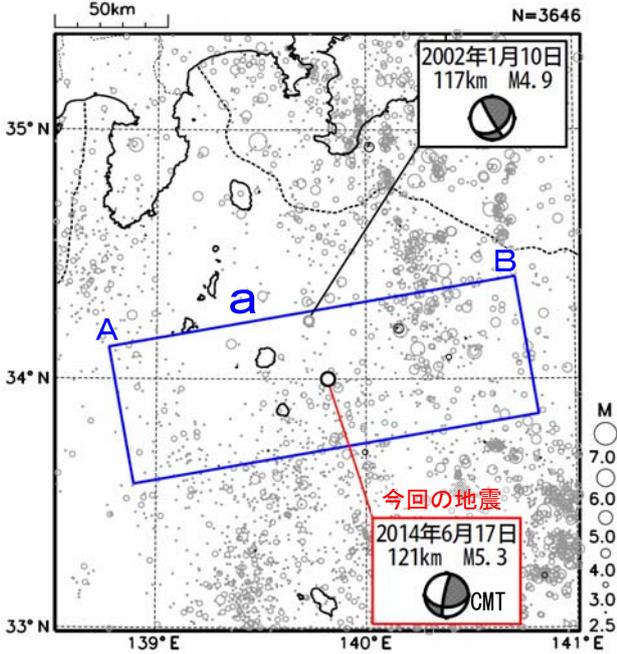
領域b内のM-T図及び回数積算図



6月17日 房総半島南方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2014年6月30日、
深さ40～250km、 $M \geq 2.5$)
2014年6月の地震を濃く表示

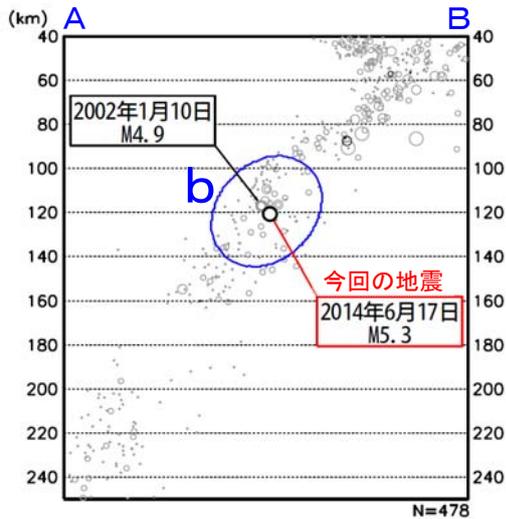


2014年6月17日02時42分に房総半島南方沖の深さ121kmで $M 5.3$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構(CMT解)は太平洋プレートの沈み込む方向(北西下がり)に圧力軸を持つ型である。

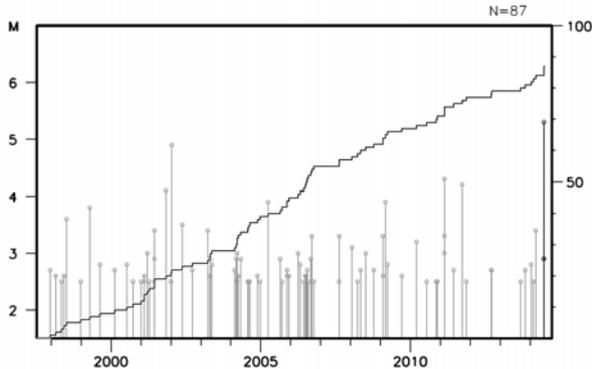
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 3.0$ 以上の地震がしばしば発生している。2002年1月10日には $M 4.9$ の地震(最大震度2)が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生しているが、1946年4月6日の $M 6.0$ の地震の発生以降、 $M 6.0$ 以上の地震は発生していない。

領域a内の断面図 (A-B投影)

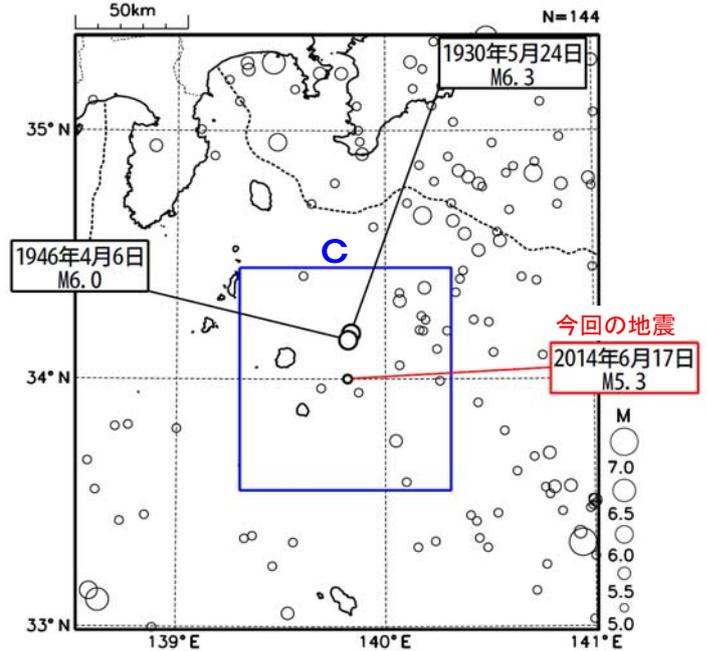


領域b内のM-T図及び回数積算図

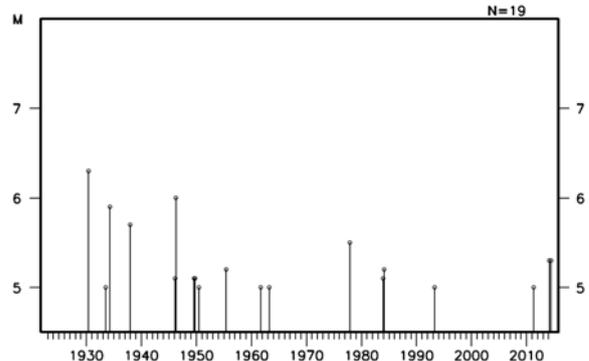


震央分布図

(1923年1月1日～2014年6月30日、
深さ40～250km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図



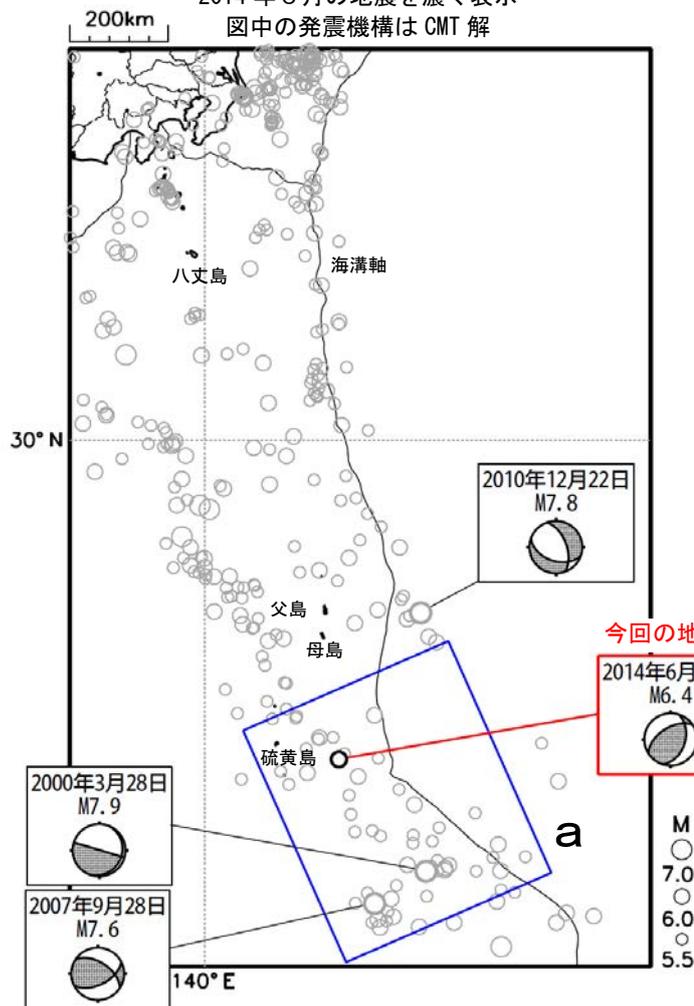
6月29日 硫黄島近海の地震

震央分布図

(1988年1月1日~2014年6月30日、
深さ0~700km、 $M \geq 5.5$)

2014年6月の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

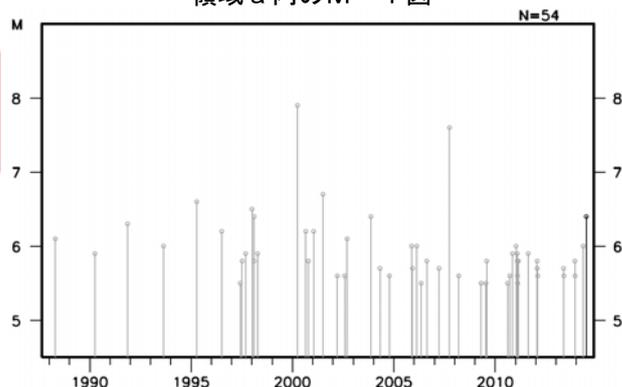


2014年6月29日14時56分に硫黄島近海でM6.4の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1988年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M6.0を超える地震が時々発生している。

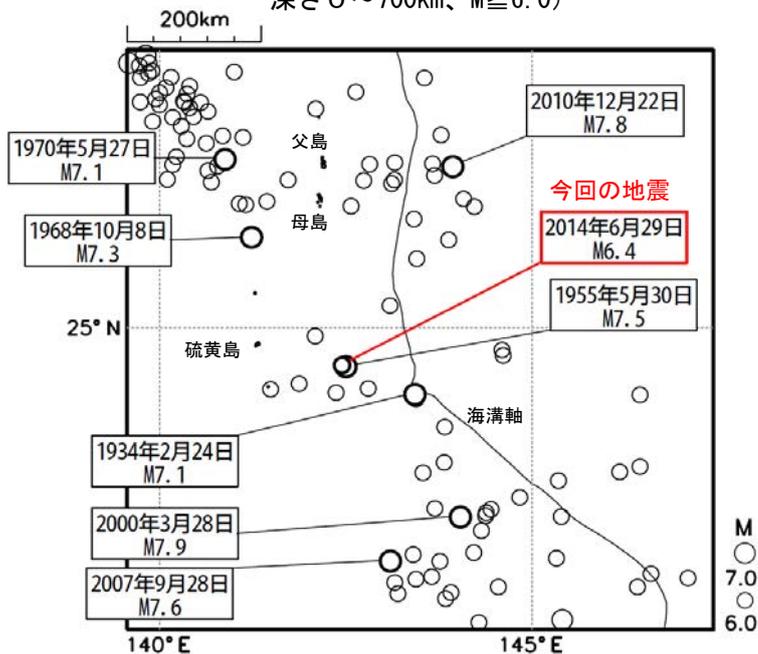
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(左下の震央分布図の範囲)では、M7.0以上の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図



震央分布図

(1923年1月1日~2014年6月30日、
深さ0~700km、 $M \geq 6.0$)



左図の領域内のM-T図

